

環境変化にも柔軟に対応できる企業基盤を確立し、 全社的な業務改革を推進

原価の見える化、内部統制対応なども実現

焼津水産化学工業株式会社

導入製品

MCFrameCS 生産管理

MCFrameCS 原価管理

MCFrameXA 販売物流

導入前の課題

- 全社的な業務改革
- 原価管理の強化
- 内部統制への対応

導入後の成果

- 業務の標準化により現場作業を効率化
- 原価データの詳細化と容易な集計・分析を実現
- アクセス権限やログの管理によりIT全般統制を実現

天然素材を生かした調味料や機能性素材の製造を主事業とする焼津水産化学工業株式会社様は、長年運用してきたオフコンの保守に課題が生じたことを機に、全社的な業務の標準化を図るべくパッケージ製品による基幹システムの構築を決断。約20製品から選定を進めた結果、自社の業務特性に最も適したフレキシブルで小回りの効くシステムとしてMCFrameを採用されました。

MCFrameの選定理由

企業規模や業務特性にマッチ

当社が生産する約1000品目の製品は、お客様の個別注文に対応する「受注生産品」と、需要動向を予測して生産する「量産品」に大別されます。そして、前者では100kgの注文があれば10tの注文もあるなど個々の受注量はまちまちで、後者においても1kg、10kgあるいは1t詰めなど1個口の単位が多様で荷姿もさまざまです。このような特徴のある業務形態に対応してくれるフレキシブルで小回りの効くシステムがMCFrameでした。食品業界での導入実績も高いので、業務の標準化という観点でも評価できました。(石川様)



常務取締役
生産本部長 兼 製造部長
石川眞理子氏

データ活用度の向上に注目

原価管理をはじめとして機能の豊富さに興味を引かれました。また、すべての画面からデータをそのままEXCELに落とせるので、データの活用がしやすくなることも期待しました。(勝見様)

MCFrameの導入時のポイント

初心に立ち返り、膨らみすぎたカスタマイズを圧縮

プロジェクト発足当初、社内の要望をまとめてみるとカスタマイズ項目が想定約2倍になってしまい、業務部門単位で再検討を行ったのですが、現場の要望を削ぎ落とすことがなかなかできませんでした。そこで、全体ミーティングの際に「パッケージを選んだ目的を忘れずに、もう一度考え直してみよう」と皆に呼びかけました。これが功を奏して、当初想定を若干上回る程度のカスタマイズボリュームに抑えることができました。(石川様)

スケジュール管理を徹底し、予定通りに運用開始

マスター登録やデータ移行など負荷の大きな作業も含め、スケジュール管理を徹底したことにより、当初計画で定めた2010年4月1日からの運用開始を厳守できました。約1年4カ月のプロジェクト期間中、キッセイコムテックが細部にわたって尽力してくれたおかげで、無事に乗り切ることができたと感謝しています。(石川様)

新旧システムの並行稼働で移行もスムーズに

運用開始の1カ月前から、旧システムとの並行稼働が実施され、実務の中でMCFrameの各種機能や操作方法、データの見方などを習得しました。新旧のルールの違いにかなり戸惑いましたが、実際の業務環境の中で、キッセイコムテックのスタッフのレクチャーを受けながらトレーニングができたので、運用開始日を不安なく迎えられました。(近藤様)

MCFrameの導入効果

原価に対する社内の意識が向上

旧システムでは、「原料費」以外は「その他経費」として括り、部門や品目別などの配賦基準を設けていませんでした。しかし今は、労務費、燃料費、減価償却費などを細かなレベルで配賦しており、精緻な原価計算が可能になりました。原価の詳細がより見える化されたので、今後は管理会計を推し進めていくことも可能になったと思っています。(石川様)

データの加工・アウトプットが容易に

画面のEXCEL出力機能が非常に役立っています。旧システムでは画面データを帳票でしか出力できないためにEXCELへの再入力が必要でしたから、大幅な作業効率化が図られています。今期中には、製品ごとに原価の中の原料費を集計して原価率の推移もきちんと分析していく予定です。こうしたデータの加工・アウトプットの容易さも新システム導入の大きなメリットだと感じています。(勝見様)



生産本部長
製造部 焼津・団地工場長
勝見亮介氏

実務現場で作業効率向上を実感

販売業務で日々使用している立場では、生産側から移動された在庫情報のリスト表示によって引き当て作業での間違いが起こりにくい仕組みになったため、受注登録などが以前に比べて本当に楽になったと実感しています。また、画面の見やすさやレスポンスの速さも高く評価しています。(近藤様)



生産本部 製造部 SCMセンター
生産統括グループ 主任
近藤育子氏

お客様向けデータの作表業務も大幅に効率化

業務改善の顕著な例としては、品質保証部門で行っているお客様向けの品質分析表(社外成績表)作成もあげられます。当社では一定の分析項目数を社内基準で定めていますが、お客様によって特定項目の追加を求められることが多々あります。個別の分析表作成は従来マンパワーで対応していましたが、システム化によって大幅な作業効率化が実現されています。(石川様)

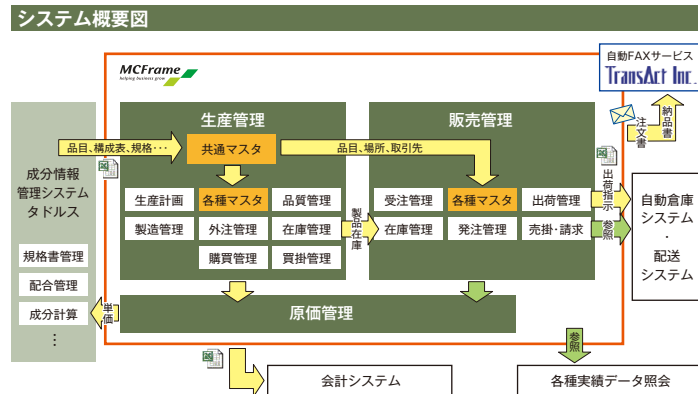
今後の展開

豊富な機能を生かした全社での活用促進に注力

新システム運用開始から1年を経て、業務現場への浸透・定着とともに明確な効果も表れてきています。とはいえ、「まだまだ使いこなせていない」という自覚もあり、全社での活用促進が今後の大きな課題です。例えば、原価管理では豊富な機能をもっと生かして、コスト削減はもちろんのこと、経営的なあらゆる判断の指標に使えるようにしていく考えです。また、食品業界では消費期限や賞味期限による製品あるいは原料の廃棄がどうしても発生するので、そうした無駄を生産管理の中でうまくコントロールできればと思っています。他方で、システムに合わせて業務の標準化を実施したものの、効率化に結びつかなかった作業もあるので、キッセイコムテックとともに一部の機能見直しについて検討も始めています。(石川様)



乾燥加工食品



導入パートナー メッセージ



キッセイコムテック株式会社
システムソリューション事業部
第2システムソリューション部
部長
唐沢秀明氏

私も、親会社であるキッセイ薬品工業㈱で培ったノウハウを活かし、特に製薬・食品・化学業などのプロセス系製造業を得意分野として、生産、販売、原価の業務領域に最適なソリューション=MCFrameの導入を行なっております。

当時、焼津水産化学工業様では、業務改革という大きな目標と、既存システム(オフコン)に起因する課題として、IT全般統制やロットトレースへの対応が急務となっていました。

パッケージ導入による課題の解決と業務改革を同時並行して推進する困難なプロジェクトでありましたが、弊社も微力ながらお手伝いをさせて頂きました。

プロジェクトがスタートし、要件定義の初日に検討チームのリーダーからプロジェクトメンバー全員に対して、「MCFrameに合わせるので、今の業務フローは無いものと思ってください」と宣言がされました。この時、私はお客様の業務改革への意識の高さと決意の強さを感じました。

要件定義が進むにつれ、カスタマイズ項目も増加しましたが、お客様と一緒にカスタマイズ削減案(代替業務案)を検討する事で、本当に必要な最低限のカスタマイズ項目とすることができました。また、この検討を通してお客様との一体感が生まれ、より一層の信頼も得られたと思っています。今後も定期的なミーティングを通して、お客様の生の声を吸い上げると同時にシステム改善要望においても、単純に要望に応えるのではなく、お客様の全体最適を常に考慮しつつ、対応していきたいと思っています。

会社概要 《焼津水産化学工業株式会社》

所在地 : 静岡県焼津市 小川新町5丁目8-13
 設立 : 1959年3月18日
 資本金 : 36億1,764万円
 売上高 : 223億円 (2011年3月期)
 事業内容 : 天然調味料、健康・機能食品およびその他の食品製造販売
 事業所 : 全国6拠点 (静岡本部、焼津本社、東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、九州営業所)
 生産拠点 : 3工場 (焼津・団地工場、榛原工場、大東工場)
 URL : <http://www.yskf.jp>



※記載された情報はすべて2011年6月現在のものです。

お問い合わせ先

b-en-g 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

プロダクト事業本部 営業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル TEL: 03-3510-1616 FAX: 03-3510-1627
 関西支店 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワー4階 TEL: 06-6390-1205 FAX: 06-6390-1201
 U R L <http://www.mcframe.com/>